

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月29日

上場取引所 JQ

上場会社名 タイヨーエレクトリック株式会社

コード番号 6429 URL <http://www.taiyoelec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 英理子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 渡邊 暢彦

TEL 052-502-9222

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	15,346	63.9	3,025	783.1	3,023	656.3	2,382	572.6
21年3月期第2四半期	9,360	—	342	—	399	—	354	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	105.06	—
21年3月期第2四半期	15.53	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	20,864	13,636	65.4	601.19
21年3月期	17,841	11,340	63.6	499.97

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 13,636百万円 21年3月期 11,340百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,800	143.2	4,300	961.4	4,300	806.7	2,900	606.2	127.85

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	22,833,748株	21年3月期	22,833,748株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	151,414株	21年3月期	151,414株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	22,682,334株	21年3月期第2四半期	22,809,384株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想および配当予想の修正を行っております。当該予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報、および本日平成21年10月29日公表の「平成22年3月期通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、企業の在庫調整が一段落し、一部に回復の兆しが見られるものの、急激な円高の進行などを背景とした企業業績の悪化や雇用情勢の低迷など、依然として個人消費は厳しい状況が続いております。

遊技機業界におきましては、プレイヤー人口が引き続き減少傾向にあるものと推測される中、遊技機ホール間の顧客獲得に向けた競争の激化が続いており、遊技機ホールは各メーカーが投入する数多くの新機種の中から話題性・ゲーム性が高く集客力の見込める遊技機をさらに選別しております。

一方で、もっとパチンコを手軽に楽しみたいというニーズに応えた低単価営業も増えており、不況下にあってもプレイヤー人口増加に向けた遊技機ホールの取り組みに一定の成果も見受けられるなど、一部に明るい兆しも現れております。

このような状況のもと、当社は、コーポレートブランドの確立をコンセプトに、時代と情報を先取りしたゲーム性・ビジュアル性・サウンド性・オリジナル性および豊富な演出に重点をおき、クオリティの高い機種開発を行ってまいりました。

第2四半期においてパチンコ機につきましては、市場で高い評価を博した初代「CR機動新撰組 萌えよ剣」のハネデジタイプをさらに進化させた「CRA機動新撰組 萌えよ剣 疾風怒濤編STX」(平成21年8月発売)を販売しましたほか、その高い完成度と壮大なストーリーが話題となったテレビアニメの傑作を忠実に再現した「CR BLOOD+(ブラッドプラス)」(平成21年9月発売)の販売を行いました。

パチスロ機につきましては、タイヨーエレクトリック×サミーコラボ新筐体第一弾として、大人気ゲームタイトルを具現化した「真・女神転生」(平成21年8月発売)を販売しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の販売台数は、パチンコ機48,653台(前年同期比 21,707台増)、パチスロ機 1,806台(前年同期比 4,387台減)となり、売上高は、153億46百万円(前年同期比 59億85百万円増)となりました。

また、利益面につきましては、「CR機動新撰組 萌えよ剣 疾風怒濤編」の販売が好調であったことにより販売単価が上昇するとともに新枠投入に伴い製品原価の低減が図られたことなどから粗利益率が改善したこと、および生産計画においても適正数量の部材を発注するとともに、その他経費につきましてもその効率化に努めた結果、第2四半期累計期間の営業利益は、30億25百万円(前年同期比 26億82百万円増)、経常利益は、30億23百万円(前年同期比 26億23百万円増)、四半期純利益は、23億82百万円(前年同期比 20億28百万円増)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

資産は208億64百万円(前事業年度末比 30億23百万円増)となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品が11億7百万円減少したものの、一方で受取手形及び売掛金が16億64百万円、有価証券が20億円、それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

負債は72億28百万円(前事業年度末比 7億27百万円増)となりました。これは主に、未払法人税等が5億92百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は136億36百万円(前事業年度末比 22億95百万円増)となりました。これは主に、利益剰余金が22億69百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、97億62百万円(前事業年度末比 5億22百万円増)となりました。当四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は31億97百万円であります。これは主に、売上債権の増加額16億61百万円があったものの、一方で税引前四半期純利益29億76百万円、およびたな卸資産の減少額10億97百万円があったことによるも

のであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は25億17百万円であります。これは主に、有価証券の取得による支出20億円、および有形固定資産の取得による支出4億99百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億56百万円であります。これは、リース債務の返済による支出43百万円、および配当金の支払額1億12百万円があったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

第2四半期の業績の進捗と下期における市場環境を勘案し、通期業績予想の見直しを行った結果、平成21年5月12日に公表した平成22年3月期業績予想を修正いたしました。

詳細は、本日別途開示する「平成22年3月期通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分しております。

② 棚卸資産の評価方法

当四半期会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前事業年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目を重要なものに限定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,787,711	9,294,901
受取手形及び売掛金	4,499,502	2,834,770
有価証券	2,000,000	—
商品及び製品	46,719	32,052
仕掛品	2,521	7,290
原材料及び貯蔵品	706,494	1,814,313
その他	163,095	193,225
貸倒引当金	△2,300	△2,500
流動資産合計	17,203,743	14,174,053
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	739,180	731,492
工具、器具及び備品(純額)	923,658	924,941
土地	883,965	883,965
その他(純額)	318,685	361,859
有形固定資産合計	2,865,489	2,902,259
無形固定資産	35,401	35,361
投資その他の資産		
その他	775,296	747,219
貸倒引当金	△15,029	△17,778
投資その他の資産合計	760,267	729,440
固定資産合計	3,661,157	3,667,061
資産合計	20,864,901	17,841,115
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,793,542	2,679,817
短期借入金	1,500,000	1,500,000
未払法人税等	620,517	27,809
賞与引当金	179,666	102,985
その他	992,926	1,045,406
流動負債合計	6,086,652	5,356,018
固定負債		
退職給付引当金	64,848	41,202
役員退職慰労引当金	783,203	764,651
繰延税金負債	7,859	5,810
その他	285,884	332,899
固定負債合計	1,141,795	1,144,564
負債合計	7,228,447	6,500,583

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,125,142	5,125,142
資本剰余金	5,161,314	5,161,314
利益剰余金	3,399,512	1,130,010
自己株式	△64,955	△64,955
株主資本合計	13,621,014	11,351,512
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,439	△10,980
評価・換算差額等合計	15,439	△10,980
純資産合計	13,636,453	11,340,531
負債純資産合計	20,864,901	17,841,115

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	9,360,804	15,346,350
売上原価	6,443,269	9,148,723
売上総利益	2,917,535	6,197,626
販売費及び一般管理費	2,574,958	3,172,332
営業利益	342,576	3,025,294
営業外収益		
受取利息	9,617	7,390
受取配当金	2,023	1,132
物品売却益	40,659	—
その他	21,962	8,749
営業外収益合計	74,263	17,272
営業外費用		
支払利息	13,172	15,643
支払手数料	3,802	—
その他	137	3,776
営業外費用合計	17,112	19,419
経常利益	399,727	3,023,147
特別利益		
貸倒引当金戻入額	10,242	625
特別利益合計	10,242	625
特別損失		
固定資産除却損	31,189	6,198
投資有価証券評価損	—	41,250
特別損失合計	31,189	47,449
税引前四半期純利益	378,779	2,976,323
法人税、住民税及び事業税	7,900	593,410
過年度法人税等	16,581	—
法人税等合計	24,481	593,410
四半期純利益	354,297	2,382,913

(第2四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	4,241,004	4,735,821
売上原価	2,863,721	2,730,649
売上総利益	1,377,282	2,005,172
販売費及び一般管理費	1,428,931	1,479,430
営業利益又は営業損失(△)	△51,649	525,741
営業外収益		
受取利息	7,665	4,269
物品売却益	40,659	—
その他	11,065	4,477
営業外収益合計	59,390	8,747
営業外費用		
支払利息	5,977	7,676
支払手数料	1,809	—
その他	137	2,027
営業外費用合計	7,924	9,704
経常利益又は経常損失(△)	△183	524,784
特別利益		
貸倒引当金戻入額	△1,216	625
特別利益合計	△1,216	625
特別損失		
固定資産除却損	25,781	542
投資有価証券評価損	—	10,920
特別損失合計	25,781	11,462
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△27,181	513,947
法人税、住民税及び事業税	3,900	226,200
法人税等合計	3,900	226,200
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△31,081	287,747

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	378,779	2,976,323
減価償却費	252,737	354,208
有形固定資産除却損	13,380	5,777
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20,575	△2,949
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,858	76,681
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,008	23,645
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,705	18,551
受取利息及び受取配当金	△11,641	△8,522
支払利息	13,172	15,643
投資有価証券評価損益(△は益)	—	41,250
売上債権の増減額(△は増加)	396,643	△1,661,543
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,232,935	1,097,921
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,320,353	△61,564
その他	△145,857	341,652
小計	△190,209	3,217,074
利息及び配当金の受取額	10,706	8,112
利息の支払額	△12,711	△15,504
法人税等の支払額	△31,745	△12,450
営業活動によるキャッシュ・フロー	△223,960	3,197,231
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	30,000	30,000
有価証券の取得による支出	—	△2,000,000
有形固定資産の取得による支出	△234,103	△499,150
ソフトウェアの取得による支出	△5,120	△2,777
その他	△13,543	△45,861
投資活動によるキャッシュ・フロー	△222,766	△2,517,788
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	—
長期未払金の返済による支出	△66,443	—
リース債務の返済による支出	—	△43,911
自己株式の取得による支出	△63,137	—
配当金の支払額	△114,001	△112,721
財務活動によるキャッシュ・フロー	△543,581	△156,632
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△990,308	522,810
現金及び現金同等物の期首残高	9,781,722	9,239,901
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,791,413	9,762,711

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。